

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1002007

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	#REF!	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設他一式 ・町有地実測調査設計及び用地確定調査委託料 ・本町地区代替地他整備工事
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度		A	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3	#REF!	
事業名	雄武町都市対策事業	見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10	#REF!	
事業主体	雄武町	関係課		#REF!	
事業指標	整備河川数			#REF!	
事業目標	2河川	ハード/ソフト 事業区分	1	#REF!	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名			
		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計画 事業 費	事業費(千円)	358,592	56,900	54,300	19,400	124,457
	財源内訳					
	国庫支出金	29,100		29,100		
	道支出金	272,802	48,000	21,000		107,200
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	56,690	8,900	4,200	19,400	17,257	
実績事業費	事業費(千円)	295,876	26,869	32,233	19,316	122,885
財源内訳						
国庫支出金	12,720		12,720			
道支出金	234,660	18,360	19,500		108,582	88,218
地方債	0					
その他	0					
一般財源	48,496	8,509	13	19,316	14,303	6,355
関連 事項	(特定財源の詳細等) 道委託金 (オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事委託金) 経済危機対策臨時交付金	【評価・実績】	(実施内容等) ・北海道との打合せ協議 ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事 ※前年度評価結果 Aー継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との打合せ協議 ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事 ・用地調査及び代替地整備工事 ※前年度評価結果 Aー継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との打合せ協議 ・本町地区代替地他整備工事(繰越) ※前年度評価結果 Aー継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との打合せ協議 ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事 (下水道、水道移設他) ※前年度評価結果 Aー継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	年1回以上	年1回以上、0橋	2河川	2河川
	年度達成率	47%	59%	100%	99%	91%
	全体達成率	7%	16%	22%	56%	83%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名 雄武町都市対策事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
	評価者 作成者 職氏名	都市計画係長	永井栄次

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備河川数								
【抱える課題やニーズは】	河川の氾濫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で災害に強い河川整備を目指す。	① 整備河川数/整備河川数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2河川</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2河川</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	2河川	実績値	2河川	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	2河川										
実績値	2河川										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	災害に強い河川整備による地域住民の安全確保。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	北海道や関係機関との協議、打合せ	オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走建設管理部興部出張所と関係機関である雄武漁業協同組合と協議、打合せを行った。									
	民間業者による委託・工事の実施	民間業者の入札により、支障物件移設(水道・下水道・代替道路等)に係る設計委託・工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、河川整備(橋梁・護岸等)が円滑に進められた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	舗装材や基礎材に再生材を使用したことで、事業費を抑制したことは効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

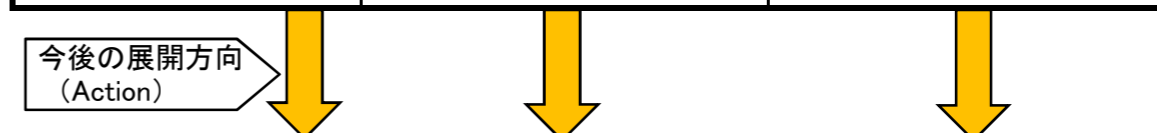
公平	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことの出来ない事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
北海道により実施されている事業であるため、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止